



# あさひ

## 10月号

令和4年9月30日  
横浜市立旭小学校

「思いをもつ力」

「やり抜く力」

「関わる力」

【WEB】 <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/asahi/>

【Instagram】 [asahi\\_e.s.\\_yokohama](https://www.instagram.com/asahi_e.s._yokohama)

## RESTART

“121<sup>st</sup> SCHOOL YEAR”

### 体験を通して学ぶ秋

校長 益子 照正

夏休みが明け、あさひっ子の声が戻ってきてから早くも1か月が経ちました。暦の上では「秋真ただ中」といえる時期に入りました。地球温暖化の影響なのか、依然として夏日が続いていますが、朝夕の涼しさやカラッとした空気からは秋の訪れを感じます。

さて、本校のこの秋のテーマは「体験を通して学ぶ」です。春先に行った学校説明動画配信の中でもふれましたが、今年度より年間計画を見直しました。春から夏にかけては「学級・学年づくり」を中心に進め、人間関係性充実を土台として、秋から冬にかけて「体験を通して学ぶ」ことを中心に、学校教育目標で示す3つの資質・能力の獲得を目指す方向性にいたしました。

その先陣を切って、今月中旬に6年生が片品宿泊体験学習に行ってきましたが、私も同行いたしました。2泊3日で行ったこの体験学習における最大の学びは「関わる力」に集約されます。よく見かける学年全体での「集団行動」とは一線を画したもので、群馬県片品村にある複数の民宿を舞台に、2泊3日の「小集団での生活」を通して、必要不可欠な「関わる」ことを子ども自身が学びとるのです。今年度の6年生は4クラスですから、男女別にして15名前後、8つの宿に分かれて生活するのですが、その宿の方々とのやりとりで進むプログラムになっているので、会話を伴わずに生活することはできません。また、宿を飛び出して自然とふれあうプログラムの中にも、必然的に現地の方々とのコミュニケーションが含まれる構造に仕掛けていることから、否応にも関わらざるを得ません。最終学年での小学校生活最後の宿泊ということもあり、学年全体で動く企画・運営（キャンプファイヤー）や班別自由行動も含めると、多様な人との「関わり」に埋め尽くされた3日間になっており、6年生は多くのことを学び取ってくれたものと思っています。

下に掲載している写真は、その一端です。紙面では見づらいので、WEBページ、あるいは公式Instagramをご覧ください。



10月に入ると4・5年生の宿泊体験学習、11月には1・2年生の遠足、3年生の社会科見学、個別支援学級の他校との合同宿泊体験学習と、各学年の体験的な学習が続いていきます。それぞれにおいて重点化する資質・能力を設定してその育成に取り組む計画です。

もちろん、日常の学校生活においても、学校教育目標で掲げる3つの資質・能力を育んでいきます。12月には本校の教育活動に対する保護者評価をお願いする予定です。その際には、「身に付けるべき力」といった視点でのご意見、ご感想をぜひともよろしくお願いいたします。